

# かわぐち

2004. 4月号 No.367

### 今月の主な内容

- 平成16年度施政方針(要旨)……2～7
- 平成16年度予算……8～9
- 木沢小学校125年の歴史に幕……10～11
- 東川口環状線の整備に着手……12
- 物産館の名称が決定ほか……13
- 子育て支援センターオープン……14
- 上川保育園が閉園しました……15

ほか



「閉校しても忘れないよ、ありがとう木沢小学校」

～木沢小学校卒業式と閉校式～

3月24日、春のさわやかな風が吹く日、木沢小学校で最後の卒業式と併せて閉校式が行われました。

式典では、終始緊張した表情だった児童たちも記念写真撮影では今までお世話になった恩師たちに囲まれて笑顔でポーズ、和やかな雰囲気になりました。

## かわぐち歴史探訪 25 日清戦争と草鞋



▲明治28年発行の承認状

明治27、28年の2枚の陸軍恤兵監陸軍騎兵大佐名による承認状を中新田の山田基さんに持参いただきました。

この承認状(写真)は「報国恤兵の主旨を以って」藁靴、草鞋の寄付を承認したものである。恤兵とは兵士に金品をもって慰問するということである。

明治27年9月1日現在草鞋8万足、手拭2万枚、梅干17石、スルメ4千枚、足袋などが献品として承認されたと時事新報は報道していた。この時は日清戦争の最中であり川口からも出征した方々もいたが、陸軍は全国に支援を求めていた。当時の兵士は農民出身者が多く、

靴など履く習慣がなく、靴擦れなどの支障をきたした事情があった。陸軍衛生紀事摘要によれば、補給業務に従事した軍夫のほとんどは、まだ草鞋をはいていたし、軍靴の追送が遅れた第1軍(司令官・山県有朋大将)では、「将兵も亦或は本邦より携えたる又は彼地にて造りたる草鞋を代用」とある。このため、寒さに足をやられて、多数の凍傷患者を出すことになった。

日清戦争の10年後の日露戦争でも同様に、雪国新潟県など10県に対し、藁靴56万足を調達させていたという。当時の国内は連戦連勝にわいていたが、極寒の地で藁靴を履いた兵士にとっては地獄であった。

### あとがき

▼木沢小学校の卒業式は、服部校長先生が同校に赴任してから一番大きな式になったそう、教職員の数少ない中での準備はたいへんだったそうです。ごくろうさまでした。3名の児童たちには、閉校の寂しさもあると思いますが、それぞれ新しい学校で、たくさんの方たちと出会い出逢ってほしいと思います。▼卒業などの、別れから新生活の希望に満ちた春へ、気持ちを新たにリフレッシュして新年度を迎える方は多いと思います。「広報かわぐち」も若者からお年寄りまで楽しめるような内容にしていきたいと思っています。広報をこつた方がよいという意見などありましたらお寄せください。

# 心に残る出会いと交流 誇りとうるおいのある暮らしのまちづくりに向けて

## 平成16年度施政方針(要旨)



平成16年第一回川口町議会3月定例会の開会に当たり、私の町政運営に対する所信の一端と平成16年度予算案の概要についてご説明申し上げます。

### はじめに

本格的な少子高齢化社会の到来、社会経済環境の急速な変化、高度情報化や国際化の進展等を背景に町民の行政に対するニーズが複雑かつ多様化してきております。とりわけ社会の成熟化とともに、

町民の意識や意向は物の豊かさのみならず心の潤い、ゆとりのある生活を求め高度化・多様化し、町民生活に密着している行政の役割は、ますます大きくなっていくものと考えております。このために私は、これまで町民の皆様から寄せられた貴重なご意見を基に、「心に残る出会いと交流 誇りとうるおいのある暮らしのまちづくり」をより一層推進する決意であります。

### 行政運営について

「豊かな自然との共生」を基本理念とした「第4次川口町総合計画」に基づき、町民と協働して地域の特性を活かした個性あふれるまちづくりを進め、住む人が喜びと誇りをもって暮らしていくための各種施策を着実に推進していきたいと考えております。また、数々の提案をいただいた「21世紀のまちづくり戦略会議」に

代わり「ふるさとまちづくり塾」を設置し、自治の理念を町民と共有し、協働してまちづくりを進め、町民総参加によるまちづくりを積極的に推進してまいりたいと思っております。集落の創意工夫と実践による地域づくりを支援する「集落夢づくり事業」は現在4地区で積極的に進められておりますので、昨年創設した補助制度の活用や情報提供など、一層その支援に努めてまいりたいと考えております。

### ○市町村合併について

私は、昨年1月の臨時議会で住民意向調査の結果と町議会の決定を尊重し、合併特例法の期限までの合併を見送り、当面は自主・自立の道を選択いたしました。社会経済情勢が一段と厳しさを増している中、これまで職員数の削減や学校・保育園の統廃合への取り組みなど徹底的な経費節減と組織機構の改革に努め、地域固有の資源を活かした個性豊かなまちづくりの推進

に努めてきたところであります。このような中、総務省は現行の合併特例法失効後は新法を制定し、平成17年4月以降も、激変緩和措置として、平成21年度までに合併する場合に地方交付税の優遇措置を継続することを決めました。また一定期間さらに合併を推進するため、都道府県に市町村合併に関する構想を策定させ、合併に関する斡旋、勧告を行うこととしております。

合併は、何よりもその地域の将来に振興と発展をもたらすものでなければなりません。そのため、合併が決して強制されることなく自主的な判断により、自らの責任で自ら決定することが何より重要であります。従いまして新法施行後においても合併問題に真摯に取り組んでいく所存であります。

私はこれからのまちづくりは「魅力ある個性豊かなまちづくり」であると考えております。中山間地の豊かな自然環境に恵まれた当町は十分

その可能性を有していると確信しております。個性ある地域資源を活かすためには、真の自己決定、自己責任による町民総参加のまちづくりが大切であり、引き続き町民の皆様と一緒に頑張ってまちづくりに全力を注いでいく覚悟であります。

国の三位一体の改革により地方交付税の大幅な削減、国の補助金の廃止・縮減など、町の財政状況は一段と厳しさを増しておりますが、一層の行財政改革を推進するとともに、合併特例法の期限までの合併を見送ることにについてはこれを厳守し、合併新法の制定の推移を見守りながら本町の生きる道を模索していく方針であります。

### 農業の振興について

本町の基幹的産業は農業にあり「農」における多面的機能の再認識を図りながら生活・文化・自然環境が調和した農村を目指し、「農」に経済活動を結びつけた地産地消型経済循環を対外的に発展させることが重要と考えております。

私は農業の活性化が町内経済に直結するとの認識に立ち、農業経営基盤と脆弱な町内経済の高位安定に向け、積極的に農業経営構造改革に取り組んでまいりました。

国の「米政策改革大綱」により従来の国の制度に依存した稲作の時代から農業者自らが水田農業の仕組みづくりをしなければならぬ時代となりました。町では、新たな制度・仕組みに対応しつつ「売れる米づくり」を踏まえた生産・販売を推進していきたいと考えております。

水田農業の大変革を迎え、美味しくくて安心・安全な「売れる米」の生産が強く求められ産地間競争も一層厳しくなるためJA川口町と連携を図り品質の向上、集落営農の推進、担い手の育成に努めるとともに、えちご川口農業振興公社と連携し、身近な新鮮野菜・農産加工品の開発、販売や消費動向の調査分析など、産地間競争に打ち勝つ販売システムの確立を進めることとしております。



さらに自然環境に配慮した栽培を目指し、付加価値化を図るため、雪氷冷熱の利用や耕畜連携による栽培システムの検討、農家との情報伝達の仕組みづくりなど、農業政策委員会を中心に、当町の「農業構造のありべき姿」を検討いただき、積極的に農業振興施策に反映させることとしております。

現在、各地区の「水田農業産地化ビジョン」を策定中であり、西川口地区では生産組合の再編を、田麦山地区では集落営農についての検討組織の立ち上げが議論されており、また西倉地区では、昨年11月ライスセンター管理組合を設立、栽培設計を統一した「西倉米」の生産準備を進めておりますし、相川地区では、昨

年の共同防除実績を契機に組織化が進むことに期待しております。園芸栽培では、周年栽培を目指し3戸の農家が「施設園芸産地育成事業」を活用しハウスによる冬の野菜栽培に取り組みむなど、全町的に農業構造改革が浸透しつつありますが、さらに懇談会、経営指導会を通して他の地域に広げるよう努めてまいります。

平成16年度は交流物産館がオープンすることから、生産供給体制の確立を図るため「1戸1畝畑作拡大運動」を展開するとともに、複合経営の促進と販売農家の拡大を図るため、複合経営推進補助、農産加工の起業支援補助及び担い手支援として小規模ほ場整備費補助を行うこととしております。

県営の「農免農道整備事業」については、平成15年度に橋梁下部工が3カ年工事として着工され、道路工も平成16年度で完了の予定となっております。平成19年度の完成に向けて努力してまいります。

牛ヶ島地区の「担い手育成基盤整備事業」については、平成15年度から生活環境整備に着手し、平成16年度は集落道1路線を着工、残る2路線も用地補償が予定され、平成17年度は全て完了する計画となっております。

### 土木事業の促進

「川口橋架換事業」は、「道路改築事業」として実施し、これまで用地補償交渉が続いているところでありますが、早期完成に向けて平成15年度に右岸橋台及び取付部に着工、平成16年度は橋脚2基の工事が予定されております。残りの用地確保には、引き続き誠意をもって交渉にあたり供用開始に向けて全力で取り組んでまいりる所存であります。

「まちづくり総合支援事業」では、「東川口環状線」について、平成15年度から用地補償交渉を先行し、平成16年度は用地取得と並行し工事に着手する予定で、流雪溝など克雪施設についても計画実施することとしております。

町道は主要路線のほとんどが整備済みですが、平成16年度は改良、舗装7カ所のほか、維持補修を14カ所行うこととしております。

また、牛ヶ島と国道17号を結ぶ通称「横根坂」の改良については、平成15年度に測量設計を実施、平成16年度から国の補助事業により用地補償及び工事に着手することとしております。

克雪対策については、除雪機械を年次計画で更新してきたところであり、町の除雪体制に万全を期して取

り組み、また雪みち計画の充実を図り、歩行者の安全確保にも努める考えであります。

次に、県道川口塩殿線の歩道整備については、川岸から小江戸橋間の整備が計画され、平成16年度は用地買収と併せて一部着工することとなっております。また、「克雪住宅環境整備支援事業」を引き続き推進し、雪に強い快適な住環境整備の支援をすることとしております。

「魚野川水辺プラザ整備事業」については、国土交通省と町が共同で水辺空間の整備を進めております。西川口地区の「相川川合流点」は概ね工事完了となり「相川川の旧廃川敷」の整備についても、西川口の関係者と話し合いを開始したところであります。

「東川口地区」については、東川口町会や関係団体と協議を重ね平成15年度から工事に着手、平成16年度も引き続き工事を進めることとしております。「和南津地区」については、地元関係者と利用計画などの協議を重ねているところであります。今後も水辺プラザ全体の活用や整備内容など調査、研究を行いながら「人が賑わい楽しみ、やすらぐことができる川辺」の創出に努めてまいります。

### 工業の振興

近隣市町への大型店進出の影響や消費者ニーズの多様化等により、購買志向の町外流出は益々顕著となり、本町の商業環境は厳しい状況にありますので、本年も引き続き地方産業育成資金、商工組合中央金庫貸付金など金融的経費を確保し制度資金の有効活用を図るほか、商工会への助成を行うこととしております。

本町では、女性グループや農業者を中心に農産物直売や農産加工、手工芸品の製作、販売などの取り組みが年々活発化しております。本年は交流物産館がオープンし、地域内の消費拡大に大きな期待を寄せているところであります。

本町では、和楽美の湯など交流施設の整備も進んでおり、グリーンツーリズムなど都市住民との交流促進に努め、えちご川口農業振興公社や商工会、JA川口町と連携しながら交流人口を対象とした「農村の市場化」を推進し、「地域循環型経済」の確立による商工振興に積極的に取り組む考えであります。

### 交流の促進

農山村地域の自然や文化、人々との交流を楽しむグリーン・ツーリズム

ムへの関心も高まっております。

地産地消やスローフードが注目を集める中で魅力ある地域交流型の観光地づくりのためには、これまで以上に自然や食、文化など地域の資源を素材に、地域住民が参加した多様な交流体験プログラムづくりに地域ぐるみで取り組む必要があります。

昨年、杜の宿「遊亀庵」、「和楽美の湯本館棟」がオープンし、さらに温泉棟、交流物産館、魚野川水辺プラザの整備も進んでおります。これらの施設を都市住民との交流拠点として活用しながら、えちご川口農業振興公社と連携し健康、食、農をキーワードに地域住民が主役の体験交流型観光を推進していく考えであります。

和楽美の湯の入場者数は、平成9年の開湯以来今年2月で100万人を突破し、特に昨年7月の本館棟オープン後は月平均3千人を超える増加となりました。温泉棟には流水プールやトレッキングブルのほか、露天風呂や源泉浴など特徴のある施設も整備されますので、一層の健康増進回復と交流人口の増加につながるものと期待しております。

近年、川の魅力を観光に活かす自然体験型のリバーツーリズムが全国各地で展開されております。本町でも昨年川口やな場周辺で親水イベント、田麦山保育園は東川口保育園の分園としてスタートすることとしております。

特別保育については、一時保育、乳児保育、障害児保育の受入体制を充実させ、延長保育では、午前7時30分から午後7時まで受入時間を延長し、保護者の就労支援を行い、子供を産み育てやすい環境づくりを進めてまいります。

また、閉園となる上川保育園施設を活用し、新たに「子育て支援センター」を開設、育児相談や子供たちの遊び場の提供など、より一層子育て世帯の支援に努めていく所存であります。

放課後児童ふれあい広場については、子供同士のふれあいを通して児童の健全育成に大きな役割を果たしております。次代を担う子供たちが健やかに成長できるようにさらにその充実に努めていく考えであります。

### 福祉の充実

振興と交流人口の拡大に努めてまいりたいと考えております。

福祉施策は、かつての低所得世帯等への救済的施策から、少子高齢化、核家族化の進行、ライフスタイルの多様化など、これまでの福祉制度が前提としてきた諸条件が大きく変わろうとしております。

こうした環境の変化に対応した福祉施策の展開を図り、「温かく思いやりのある心を育む福祉のまちづくり」に向けて努力してまいります。

当町の高齢化率は昨年12月末で27%となり、要介護老人や高齢者世帯、高齢者の一人暮らし世帯も増加しておりますので、高齢者福祉については、今後も「介護サービスの充実」と、「元気で生きがいをもった高齢者づくり」を目指す施策を推進することとしております。

これまで特別養護老人ホーム「あおりの里」の開設など福祉基盤整備に努めてきておりますが、地域福祉推進の中心的役割の「社会福祉協議会」や関係機関・団体との連携・体制づくりを強化し、住民参加による福祉活動と健康づくりを推進し、生活に密着した介護予防・生活支援事業の一層の充実を図っていききたいと



「川と遊ぶうーふれあいフェスタ」を実施し町内外から約1500人の参加がありました。本年も継続実施し「川のまち・川口」の魅力を町内外にアピールしていく所存であります。

また、雪を資源として活かす町民総参加で取り組む「雪洞火ほたる祭」は、当町を象徴する真冬の一大イベントに成長しておりますし、四季折々の自然や生活、文化を写し出す「フォトコンテスト」は毎回魅力溢れる作品がそろい、本町の自然や生活、文化など地域の再発見につながっております。

こうした地域固有の資源を活かした取り組みをさらに充実させ、観光

### 健康の増進

人口の高齢化とともに、疾病全体に占めるがん、心臓病、脳卒中、糖尿病等の生活習慣病の割合が増加し、これに伴い要介護者等の増加が深刻な問題となっております。このため町民一人ひとりが「自分の健康は自分でつくる」という意識を持ち、健康増進に努めていくことが何より重要であると考えております。

このような観点から、昨年和楽美の湯で、運動による生活習慣病予防事業「いきいきアップ教室」を開設したところでありますが、その効果は確実に現われ、好評をいただいております。トレーニングは、年齢にかかわらず健康づくり・介護予防・健康寿命の伸長に大きな効果をもたらします。今後とも健康の増進を図り、病気の発症自体を予防する二次予防、病気を早期発見・治療する二次予防の充実・強化により町民の健康づくりに万全を期していく考えであります。

また、消費者の健康志向や食に対する安全安心意識の高まりから地域の食材や伝統的な食文化が見直され、地産地消や食の果たす役割が大きくなる見込みです。引き続き「バランスのとれた食生活」の指導に努め、地域の食材

を生かした「食による健康づくり」の普及啓発を図ってまいります。また近年、社会経済環境の複雑化により心を病む人が年々増加しておりますので、引き続き講演会等を開催するなど正しい知識の普及啓発を図り、町民が心身ともに健康で生き生きと暮らせる町づくりを推進してまいります。

### 環境衛生

今日の環境問題は、通常の事業活動や日常生活による環境負荷の増大に起因するものが極めて大きくなっており、その背景に大量生産、大量消費、大量消費型の社会経済活動や生活様式があります。

このため当町では、環境基本条例に基づき、町、事業者及び町民がそれぞれの役割分担のもとで、自主的・積極的に環境保全活動を行うことにより、自然と人が共生し環境負荷の少ない地域社会づくりを進め、「健全で恵み豊かな環境の確保と継承」の実現に取り組んでまいりたいと考えております。

ごみ問題では、ごみの減量化対策として古紙等の集団回収団体に対する助成、コンポスト購入や電動式生ごみ処理機購入への助成を行っておりますが、一層の普及を図り引き続き



きごみの減量化やリサイクルの促進に積極的に取り組んでまいります。

ごみの不法投棄については、当町でも増加傾向にありますので、関係機関と連携し不法投棄パトロールや監視活動を続けるとともに、啓発活動を通じてモラルの向上に努めていきたいと考えております。

毎年全町一斉に行う「クリーン大作戦」の効果により年々空き缶などのポイ捨てが減少し、廃棄物に対する環境意識の高まりが現れております。実施に当たっては、子供たちからお年寄りまで家族こそぞの参加をお願いするものであります。

### 教育・文化

#### ○ 学校教育の充実

完全学校週5日制の下、新学習指導要領が完全実施されて2年が経過

しようとし、子供たちの「確かな学力の向上」と「豊かな心」の育成を車の両輪とした学校教育の推進が期待されております。また、体験学習を重視する「総合的な学習時間」が導入され、各学校の創意工夫を生かした教育活動の一層の充実が求められております。

学校週5日制の下での学校教育のありかたは、ゆとりをもって「読み・書き・計算」などの基礎基本学力の定着と、自ら学び自ら考え主体的に判断して行動する「生きる力」の育成が基本的なねらいとされております。

また、学校週5日制は学校、家庭、地域社会が一体となってその教育力を相互に高め合い、それぞれが協力して様々な体験活動を通して児童生徒の望ましい人間形成を図ることを目指しております。

町では、学校週5日制の趣旨に基づき、町独自で「地域子供活動支援事業」に取り組み、地域で子供を育てる環境づくりを進めておりますが、引き続きこれを推進し地域における様々な活動を支援してまいります。

豊かな心の育成は教育の重要な役割であり、子供たちを取り巻く社会状況が急速に変化している中で、学校における道徳教育の充実はもとより、市民の健康・体力の増進に努めてまいります。

なお、文化財審議会が国指定史跡として答申された荒屋遺跡が、2月27日付けで官報に告示され正式に国の史跡に指定されました。荒屋遺跡は、旧石器時代後期の遺跡として学会で高く評価され、町では貴重な遺産として適切に保護し、公開と活用を図る考えであります。

平成16年度は指定地の土地買収に着手し、出土品の収集、保管、展示など保存・活用を図るため専門員を設置するほか、国指定を記念して荒屋遺跡文化講演会を開催することとしております。

### おわりに

以上、施政に対する所信の一端と平成16年度事業の概要について申し上げますが、今後とも豊かな自然との共生を基本理念に「第4次川口町総合計画」に基づき計画的に実施してまいります。

川口町の更なる前進・充実・発展を目指し邁進する所存でありますので、ご理解とご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

### 平成16年度施政方針(要旨)

り、学校、家庭、地域がそれぞれ自らの役割、機能、責任を果たすことが何よりも重要であります。平成16年度は、学校の運営に関して地域の声を反映する「学校評議員」を設置し、開かれた学校づくりの一層の推進に資する考えであります。

学校施設の整備については、これまで川口小学校普通教室棟の改築、スクールバスや情報設備機器等の整備充実に向けてまいります。耐震診断の対象の川口中学校普通教室棟と管理棟については、平成15年度に耐震調査が終了したところであり、必要な措置について今後計画的に取り組んでまいります。

また、学力向上については一人ひとりの個性や能力に応じた極め細かな指導が求められ、学校において習熟度別指導や発展的・補完的な学習などに取り組んでいるところであり、また、町としては、郡内町村で引き続き指導主事を確保し、児童生徒の基礎学力向上を図っていくこととしてまいります。

併せて「語学指導を行う外国青年招致事業」を継続し、中学校におけるコミュニケーション能力の向上と、小学校における国際理解教育の推進に資することとしてまいります。

平成15年度に田麦山小学校で初めて実施した「通学合宿・ふるさと合

宿」については、引き続きこれを支援し、閉校後の木沢小学校の「生涯学習体験交流施設」を視野に置きながら町内全児童を対象に広めていきたいと考えており、実施に向けて検討してまいります。

農業体験活動については、町内小学校で伝統的に稲作活動に取り組んできております。農業体験は生命や環境への理解につながり大きな達成感や成就感を手に入れることができ、米づくりにとられることなく野菜の栽培活動など、土づくりから食に至るまでの一連の継続的活動を通して食農教育の取組みについても検討していく考えであります。

#### ○ 生涯学習の推進

「町づくりは人づくり」から「人を高めることが町を高めること」という観点から、生涯を通じて「いつでも」「どこでも」「だれでも」学ぶことができる環境づくりが必要であります。

私はこれまで「かわぐち学びの里大学」の開学をはじめ、かわぐち出前講座、生涯学習支援ボランティア制度による人材登録バンクの設置、交流体験館「杜のかたらい」の活用などソフト、ハード両面から学習機会の整備を進め、生涯学習によるまちづくりの推進に努めてきたところ



であります。

今後さらに「かわぐち学びの里大学」をはじめ「交流体験館・杜のかたらい」を拠点にふるさと川口塾や家庭教育学級、パソコン教室など各種講座や講演会、ミニコンサート、美術展などを開催し、生涯学習の推進に努めてまいります。

また、「和楽美の湯・トレーニングループ」は1月末現在で517人が登録、延べ3千人の方からご利用いただいております。インストラクターの適切な指導の下で筋力アップや運動不足解消、ストレス解消など、自分の体力、目的にあった運動に取り組んでおりますが、引き続き登録講習会を行い、利用者の目的、体力に合わせたトレーニングプログラム

# 魅力ある個性豊かな

## 平成16年度一般会計当初予算

### 特別会計

総額22億7,100万円  
(前年度比1.4%減)

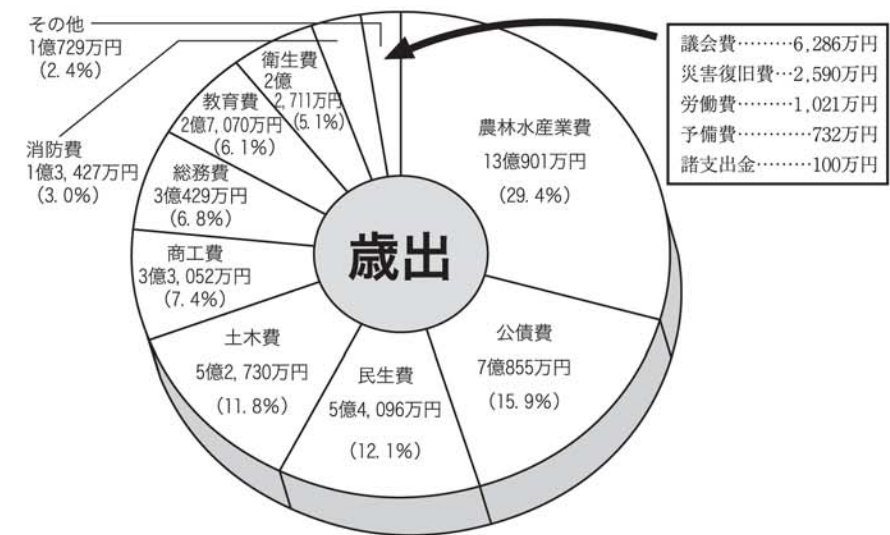
- 国民健康保険事業  
4億2,100万円(前年比5.8%)
- 老人保健事業  
6億9,700万円(前年比△9.9%)
- 介護保険事業  
3億8,500万円(前年比3.5%)
- 簡易水道事業  
1億9,000万円(前年比2.2%)
- 下水道事業  
3億4,900万円(前年比△1.7%)
- ガス事業  
2億2,900万円(前年比4.6%)

### 歳出

15年度からの継続事業である、健康増進回復施設(温泉棟)整備事業として8億2,900万円、農村振興総合整備事業として1億544万円を計上しています。

そのほか、まちづくり総合支援事業、農免農道整備事業、川口橋架換事業など、新しい町の基盤づくりとなる事業が予算措置されています。

人件費については、職員の退職不補充などにより前年度より5.3%減となっていますが、公債費については平成7年度、8年度に発行した減税補てん債の元金一括返済により元利償還金が大幅に伸びており、物件費、補助費及び扶助費などの経費も年々増加しています。



# まちづくりのために

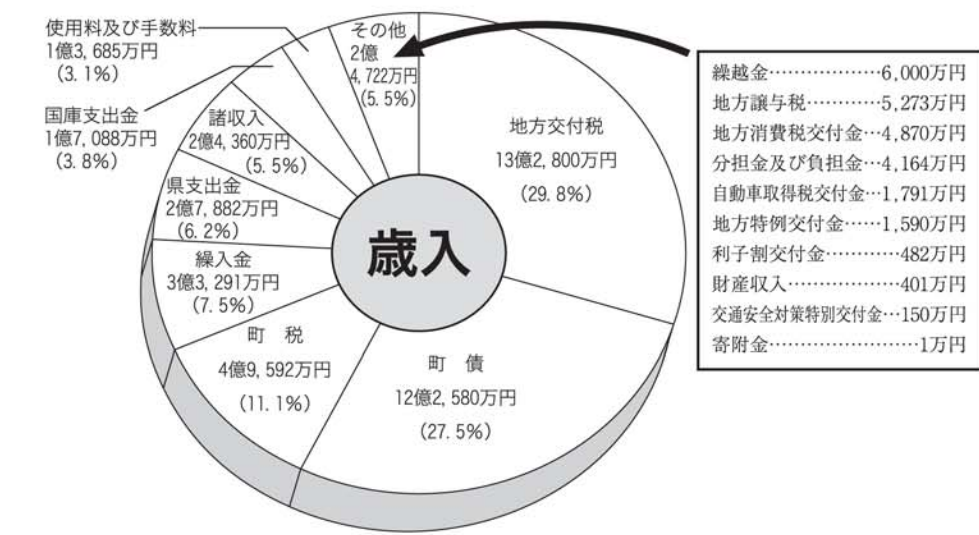
## 44億6,000万円(前年度比2.7%減)

### 歳入

最も大きな割合を占める地方交付税が4,100万円(3.0%)の減、自主財源の基となる町税が1,023万円(2.0%)の減となりました。

また、国庫支出金は、「地方道路整備臨時交付金」「史跡買上げ事業」に伴う補助金が見込まれるため、4,148万円(32.1%)の伸びとなりました。

県支出金は、「農業経営構造対策事業」「きのこ王国支援事業」に伴う補助金が見込まれますが、「新山村振興等農林漁業特別対策事業」などの事業完了に伴い1億7,102万円(38.0%)の減となりました。



個性あふれ誇りをもてるまちづくりの実現に向け、その基本となる平成16年度一般会計予算と6つの特別会計予算が町議会3月定例会で可決成立しました。  
今年度は、国の三位一体の改革により、国の補助金の縮減がなされる一方、地方交付税の削減及び臨時財政対策債の大幅な減額、長引く不況による税収の落ち込みなど厳しい財政状況の中、限られた財源の重点的配分と経費支出の効率化に努めました。  
予算のあらましについてお知らせします。

### 予算の主な使い道

(平成16年度一般会計)

- 総務費：3億4,299万円(前年度比△2.9%)
- 住民基本台帳ネットワークシステム関連経費
- 総合行政ネットワーク関連経費
- バス運行補助金
- 選挙費(参議院議員、県知事選挙)
- 統計調査費

民生費：5億4,096万円(前年度比△0.1%)

- 老人保護措置費
- 在宅福祉対策
- 重度心身障害者日常生活用具給付・更生医療給付・舗装具給付・障害者、高齢者住宅整備資金貸付・身体障害者デイサービス事業・身体障害者ホームヘルプサービス事業・介護予防、生活支援事業・老人日常生活用具給付事業・高齢者、障害者向け住宅整備事業・障害者支援事業
- 児童福祉・少子化対策
- 児童手当の支給・保育所運営費・すこやか誕生祝金の支給・次世代育成支援対策地域行動計画策定業務・子育て支援センター費
- 医療費等助成事業
- 重度心身障害者医療費助成・ひとり親家庭医療費助成・老人医療費助成・乳児、幼児医療費助成・精神障害者、腎臓機能障害者医療費助成・特定疾患、精神障害者交通費助成・福祉タクシー助成・介護者手当、父子手当の支給

衛生費：2億2,711万円(前年度比△4.2%)

- 小千谷地域広域事務組合負担金(ごみ・し尿分)
- 一般廃棄物収集業務
- 環境保全対策
- 生ごみ処理容器購入費補助・資源物回収奨励金・有害鳥獣駆除業務
- 生活習慣病予防対策
- 基本健診の実施・各種ガン検診の実施・生活習慣病予防改善運動指導

農林水産業費：13億9,011万円(前年度比△8.9%)

- 健康増進回復施設(温泉棟)整備
- 新エネルギー基本調査業務
- 交流物産館整備(POSレジシステム導入)
- 農道・集落道等の整備
- 農道整備(3路線)・集落道整備(2路線)・農業用排水施設整備(2箇所)・農免農道整備事業負担金・担い手育成整備事業負担金
- 商工費：3億3,052万円(前年度比△9.4%)
- 観光施設管理費
- 宿泊施設、温泉施設管理費
- 商工関係団体への助成、貸付
- 地方産業育成資金貸付・商工組合中央金庫貸付・町商工会への助成
- 川口まつり、雪洞火ほたる祭の実施への助成
- 土木費：5億2,730万円(前年度比△3.6%)
- まちづくり総合支援事業(川口・西川口地区)
- 水辺プラザ整備(東川口・西川口・和南津地区)
- 道路改良、舗装事業(改良4路線・舗装3路線)
- 公共事業等負担金(川口橋架換関連)
- 克雪対策事業
- 凍雪害防止、防雪事業・町道除排雪業務委託・克雪住宅資金貸付・克雪住宅調整整備事業補助金
- 消防費：1億3,427万円(前年度比△9.7%)
- 防災行政無線個別受信機整備
- 地域防災計画策定業務
- 小千谷地域広域事務組合負担金(消防分)
- 教育費：2億7,070万円(前年度比△0.2%)
- 要保護及び準要保護児童、生徒就学援助費
- 荒屋遺跡用地購入費
- 奨学金貸付
- 地域子ども活動支援事業補助金
- 公民館事業
- 文化、芸術普及事業
- 各種スポーツ事業
- 各種団体への助成
- 生涯学習の推進
- あおりの太鼓保存事業・図書館事業・家庭教育テレホンサービス・かわぐち学びの里大学・文化講演会・コンサートの開催・ワークショップの実施

# 地域とともに歩んだ125年

## 木沢小学校の歴史に幕

### 閉校後は地域の体験交流の場に

3月24日、木沢小学校において最後の卒業式と併せて地域の方々が見守る中、惜しまれながら閉校式が行われました。閉校後の校舎は、地域の文化交流や地域振興の拠点、生涯学習の場として、さまざまな催し事に使用できるよう「生涯学習体験交流センター」として生まれ変わります。ご利用については、教育委員会事務局へお問い合わせください。



### 木沢小学校での思い出



突然の雪に...



展示品作りに熱中



大運動会



▲閉校式での記念品贈呈

### 木沢小学校と最後のお別れ

木沢小学校は明治12年創立で、卒業生総数は最後の卒業生の星野幸子さんを加えて1,044名。地域コミュニティの中心として共に歩んできた同校は、極端な児童数の減少により川口小学校と統合することになりました。卒業式では、児童3名とその保護者や旧教職員、地域住民などが出席、児童たちの「木沢小学校ありがとう、さようなら」の言葉に会場は感動に包まれました。また、この日最後となる木沢小学校の校歌を出席者全員が、歌詞を一つ一つ心に刻みながら歌い、その歌声が会場一杯に響き渡りました。閉校式では、服部校長から星野町長へ校旗が返納され、125年の伝統ある長い歴史に幕を閉じました。

### 木沢小学校の沿革

- 明治12・8・10 第6大区第3中学区第11番小学校 濁沢付属木沢校として円柳寺境内に校舎を新築して開校する
- 明治20・10・1 古志郡小栗山村立小栗山尋常小学校 木沢分場となる
- 明治22・4・1 町村合併により古志郡東山村立小栗山尋常小学校木沢分場となる
- 明治35・7・3 古志郡東山村立木沢尋常小学校として独立する
- 明治42・11・12 古志郡東山村立木沢国民学校に改称する
- 昭和16・4・1 新校舎が落成して現在地に移る
- 昭和22・4・1 古志郡東山村立木沢小学校に改称、東山中学校木沢分校を併設する
- 昭和29・11・1 町村合併により、北魚沼郡川口村立木沢小学校とする
- 昭和32・8・1 町制施行により、北魚沼郡川口町立木沢小学校とする
- 昭和51・4・1 中学校が川口中学校に統合され、小学校単独となる
- 昭和53・9・10 創立100周年記念式典を挙げる
- 昭和58・12・28 鉄筋コンクリート3階建の新校舎竣工
- 昭和59・1・4 新校舎使用開始
- 昭和59・3・16 木沢小学校竣工記念式典並びに祝賀

### 『閉校によせて』

木沢小学校校長 服部 町子



風光明媚な高台に建つ、温かい学校「木沢小学校」は、百二十五年の歴史に幕を閉じました。地域の方々は、地域の文化の拠点として、また心のよりどころとして、学校に深い愛情と惜しみない協力を注いできました。

小規模校のよさを最大限に生かした教育の推進、学校と地域の共催行事として実施されてきた各種行事、地域住民の協力を得た作業等は「地域と共に歩む学校」として受け継がれてきた、輝かしい伝統であり地域の財産でした。

子どもたちや地域の方々が、故郷をこよなく愛し、本校で学んだことを心の芯にして、勇氣と希望を持って前進していくことを願うばかりです。

これまで、お寄せいただきました皆様方のご厚情とご協力に、深く感謝申し上げますとともに、木沢小学校を末永く心にとどめておいていただけますようお願いいたします。

### 『閉校、そして再生へ』

木沢総代 小林 正利



春まだ名のみ、3月24日卒業式及び閉校式、町長による閉校宣言ここに木沢小学校百二十五年の歴史に終止符が告げられました。

長く久しかった最も地域に密着し教育文化、娯楽の拠点として学校が集合の場でもあった今昔に思いを馳せたとき、その時々のごさまな様子が脳裏に帰来し、失った物の大切さと寂しさを感じるこの頃でもあります。

しかしながら子どもたちの教育や将来のために、賢明なる選択でもあります。木沢集落もたぶんにもれず少子高齢化と中間層の空洞化の流れの中で、集落の再生を考へなければならぬ時期でもあり、町の指導と集落のいろいろな意見を出し合い、前進ある地域づくりを目指したいと思っています。

### 『忘れられない木沢小』

木沢小学校は、3月で閉校しました。とてもさみしいです。でも私には木沢小学校での忘れられない思い出がたくさんあります。中でも、一年生の時にあった、もちつき大会が一番の思い出です。四人で歌った天神ばやし忘れられません。私は、木沢小学校最後の卒業生です。学校がなくなっても、思い出を大切に、川口中学校でもがんばります。友だちをたくさん作りたいです。

(木沢小学校6年 星野 幸子)

多くの木沢小学校での思い出は運動会です。一番楽しかったのはわぐりです。かなこさんといっしょに早くくぐるようにがんばりました。こんどは川口小学校の運動会ががんばります。

(木沢小学校3年 星野 直希)

今まで、たくさん思い出を作らせてくれた木沢小学校が閉校してしまいました。とてもさんねんですが思い出をたいせつにして、「川口小学校に行ってもがんばるぞ。」という気持ちでいっぱいです。

(木沢小学校2年 星野 香那)

※学年は平成16年3月です。



▲左から星野幸子さん、星野香那さん、星野直希さん

- 会挙行
- 昭和62・5・21 児童が木沢粘土での陶芸開始
- 昭和63・10・31 創立110周年記念集会・記念誌の発行
- 平成元・10・31 地域、児童、職員が一体となって陶芸穴窯「木沢窯」を造成、はじめて自然の焼き物を制作
- 平成11・2・21 創立120周年記念もちつき大会・記念誌の発行
- 平成12・2・3 第40回新潟県児童生徒絵画・版画コンクールで学校賞を受賞
- 平成13・11・20 川口小学校で交流授業始まる
- 平成14・7・15 長岡市立表町小学校との交流会実施
- 平成15・10・26 創立125周年・閉校記念式典を挙げる
- 平成16・4・1 川口小学校に統合

# 東川口環状線の整備に着手

東川口環状線は、「まちづくり総合支援事業」により、国の補助を受けて事業を進めています。これが完成した場合、東川口地区の生活環境基盤が大きく改善されるものと期待されています。

## 交通の利便性が高まります

この事業は、駅前から国道17号へ通じる「アクセス道」として延長540メートル、幅員7メートルの道路をJR飯山線沿いに新設し、交通の利便性の向上と冬期間の安全な道路交通を確保するとともに、袋小路の解消を行うものです。

あわせて、冬季の雪処理を行うため、流雪溝など克雪施設の整備を計画しています。

## 早期完成に向けて

「協力をお願いします」

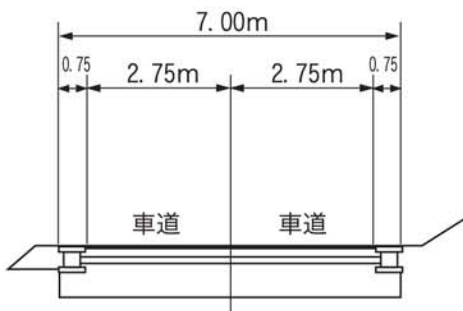
平成14年度から関係者の理解をいただき測量設計を行い、平成15年度から用地補償に着手しています。

平成16年度は、残りの用地についてご理解とご協力を得ながら、

一部工事に入る予定となっており、道路部分については、平成18年度の完成を目指しています。今後も袋小路の取付道路や、克雪関係の整備計画について、地権者の皆さんの協力を得ながら、東川口町会と協議を進め、早期完成に向けて取り組んでまいります。

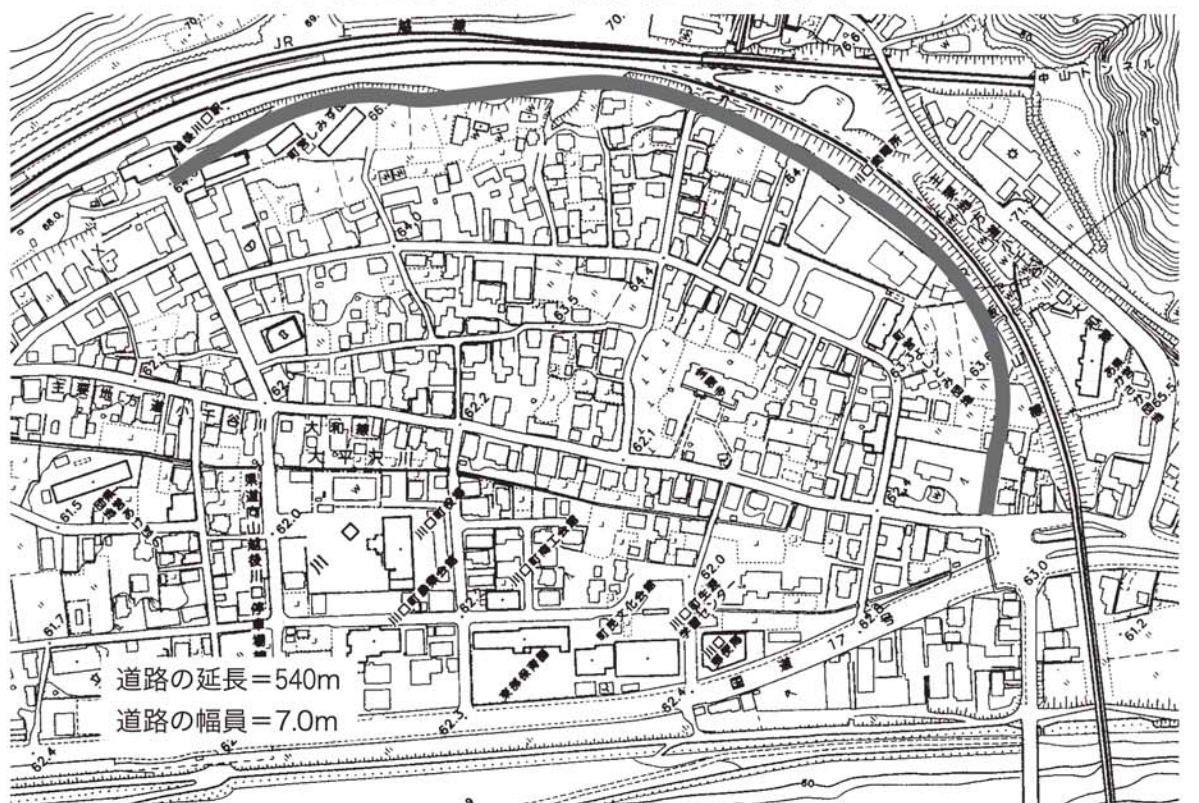
問い合わせ 建設企業課  
☎ 89-3114

標準断面図



▲乗用車が楽に通れる広さです

## 東川口環状線整備計画箇所図



## 川口町交流物産館の名称が

# 「あぐりの里」に決定

広報2月号で、農産物販売の拠点となる「交流物産館」の名称を募集したところ、多数の皆様から応募をいただき大変ありがとうございました。

35点の応募作品の中から厳正に審査した結果、最優秀賞は、新保謙治さん（小千谷市）の「あぐりの里」に決定しました。新保さんには、賞状と賞金が贈られます。

## あぐりの里に新鮮野菜を出荷しませんか

交流物産館「あぐりの里」は、毎日営業となり、売場面積も広いことから現在の直売量ではまだまだ野菜不足と思われるまま生産者の顔が見えるおいしい野菜を販売し、農家収入の向上を目指しませんか。

皆様の参加をお待ちしています。

問い合わせ  
農村振興課 ☎ 89-3113  
（株）えちご川口農業振興公社  
☎ 89-3464

## 「やる気農家」応援おまかせ

町の農業振興を図るため、平成16年度新規事業として「やる気農家」の支援事業を行います。

### 園芸振興補助金

- 1 交付対象者  
川口町に住所があり、園芸作物などの生産者
- 2 補助金額・交付条件  
前年の町内業者への売上金額を超えた金額の5%以内（1～3月は10%以内）
- 3 申請期間  
平成17年1月4日～2月末日

### 起業家支援補助金

- 1 交付対象者  
川口町に住所があり、新規に農産物などの加工販売を目的とする個人、団体
- 2 補助金額・交付条件  
1年以内に補助金額の3倍以上の売上目標を掲げていること
- 3 申請期間  
補助金額は、5万円を限度と

### ほ場整備補助金

- 1 交付対象者  
川口町に住所があり、町内の農地の小規模ほ場整備を行う者
- 2 補助金・交付条件  
補助金額は、ほ場整備に要した費用に対し20万円を限度とし、3分の1以内とします。
- 3 申請期間  
即時受け付けています。

問い合わせ  
農村振興課 ☎ 89-3113



「あぐりの里」  
「あぐり」とは英語のAgriculture（アグリカルチャー）の略。「農業の里」を意味しています。



この事業は、乳児に絵本を贈り、絵本を通して親子のふれあいや楽しい時間を共にすることで、子どもたちの豊かな感性や思考力、創造性の健やかな育みを応援する取り組みです。

●対象者  
おなかの中にある胎児のときか

### 子育て支援を さらに充実

町では、子育て支援センター「すこやか」の開設のほか、4月から「親子ふれあい絵本事業」や延長保育の時間延長を行います。

新たに「親子ふれあい絵本事業」が始まります

# 子どもたちの健やかな成長を応援します 子育て支援センター「すこやか」が 4月オープン

3月末日で閉園した上川保育園の施設が4月から子育て支援センター「すこやか」の名称でオープンします。

この施設では、育児相談と併せて子どもたちの遊び場の提供を行うなど、より一層子育てをしているご家庭の支援を行ってまいります。

### 子育てや憩いの場として活用

核家族化により、育児について気軽に相談する相手が家族の中に少なくなってきました。

子育て支援センターは、情報交換したり、いつでも自由に遊べる場として、子どもたちがいきいきと育ち、子育てに喜びや楽しみが持てるよう応援する子育ての広場です。

また、地域のお年寄りや子どもたちとのふれあいなど、憩いの場としても活用できます。

### こんな事業を 実施していきます

①子育てに関する相談、助言  
来所や電話相談などにより、保育士が子育てに関する不安や悩みと一緒に考えます。必要に応じ保

ら本当の親子のふれあいは始まっているという視点から、妊娠中の母親と生後6、7か月の乳児に各1冊配布します。

なお、16年度は事業開始初年度のため1歳から3歳児までの幼児にも各1冊配布します。このほか夫婦で生まれてくる子供の共通理解を得る父親の育児参加事業で1冊配布します。

### ●配布の方法

・妊娠中の場合は、妊産婦保健相談やプレパパママ教室で配布し、乳幼児の場合は、乳幼児健診や育児学級などで配布します。

●子育て支援センターに「親子ふれあい絵本コーナー」を設置し、絵本の紹介及び貸出しを行います。このほか、読み聞かせや講演会なども随時行います。

### 延長保育の受入れ時間を延長 (東川口保育園、西川口保育園)

仕事の都合などで保育時間の延長を希望する保護者のために早朝と夕方に延長保育を実施しています。

4月から平日の夕方の受入れ時間を延長し、午後7時まで受け入れを行います。



▲子育て支援センター「すこやか」

健師、栄養士と情報交換を進めていきます。

### ②情報の提供及び交流

○講演会や講座を開催します。  
○子育ての情報を提供します。  
○子育てについて語り合う親同士のコミュニケーションの場として活用します。

### ③子育てサークルなどへの支援

○子育てサークル活動の場の提供やPRなど仲間づくりの支援を行います。

### ④ふれあい交流活動

○遊びなどを通して異年齢との交流を行います。  
○「絵本の読み聞かせ」「調理実習」「折り紙やこま回し」など高齢者などとの交流を行いますので、地域のどなたでもご利用ください。

- ⑤療育教室  
○保健師、保育士が遊びを通して子どもの健全な発達を促す療育の方向づけや育児相談などを行います。
- ・対象者  
3歳以下の児童と家族
- ・実施日時  
毎週火曜日  
9時30分から11時30分
- ⑥放課後児童などへの支援  
○小学生以下の児童を対象に、開館時間帯を児童の遊び場として施設を開放します。
- 利用を希望する保護者の方は子育て支援センターまでお申し込みください。

■開館日  
月曜日～金曜日  
(事業内容によっては土曜日、日曜日も開館します。)

■開館時間  
9時30分～12時  
13時～18時

■問い合わせ先  
子育て支援センター「すこやか」  
TEL (FAXも同じ)  
☎ 89-3555

### 20年の思い出を残し

## 上川保育園が閉園

3月27日、上川保育園で卒園式および閉園式が行われ、惜しまれながら保育園としての役割を終えました。

閉園式やおわかれ会では、皆さんそれぞれ保育園での思い出を語り合いました。

### 20年の歴史に幕

上川保育園は、昭和59年4月に59名の子どもたちを迎えて開園しました。20年の間に287名が卒園しましたが、急速な少子化などにより、閉園することになりました。在園児の5名は4月から東川口保育園に通園します。



▲上川保育園とお別れ(卒園式、閉園式)

### おわかれ会を開催

2月28日、保育園を1日解放して地元の皆さん、卒園者、関わりがあった職員が顔を合わせ懇談する「おわかれ会」を行いました。

20枚の卒園記念写真の前で、幼い自分を発見し、歓声をあげる人、お孫さんと一緒に写真を見ながら「あの頃は若かったのお」と感慨深げなおばあちゃんなど、皆さんそれぞれのなつかしい思い出話に花が咲き楽しい時間を過ごしました。

### 上川保育園での思い出

第1回卒園(昭和59年度)  
阿部 裕美さん(武道窪)  
私は1年を上川保育園で過ごしました。春は親子旅行、夏は七夕、秋は運動会でエルマーの入場門を作り、お正月は杵で餅つきをしました。

他にも色々ありましたが、やはり皆で楽しく遊んだことが良い思い出です。

### 第12回卒園(平成7年度)

広井 翼さん(相川2)  
保育園の時は、とにかく遊んだと思います。自分が学んだ保育園がなくなるのは、悲しいですが今の園児たちは人数が多いほうが楽しいと思うので、良かったのかと思います。今までご苦労さまでした。



みんなでも楽しく学びませんか

# かわぐち学びの里大学が開講



今年も「いこども たいこども

だれでも」学べる「かわぐち学びの里大学」を開講します。

この大学の講座は、昨年の9月から町民のみなさんと組織する生涯学習推進協議会委員と役場スタッフのメンバーで計画を立て、内容を検討してきました。魅力ある講座をそろえましたので、皆さん参加してみませんか。今年度行われる講座の内容をご紹介いたします。

## ふるさと川口塾

昨年に引き続き今年もテーマは「祭」です。昨年は「よさこい踊り」について学びましたが、今年度は少しハードな「よさこいソーラン」に挑戦します。



## 長寿塾

高齢者を対象とした講座で、今年度は「自然」を中心に学びます。町内の自然や魚沼の自然について様々な角度から学習します。

## ボランティア実践講座

交流体験館「杜のかたらい」の花壇をボランティアの手で作ります。この講座は今年で3年目となりました。花壇も徐々に増え、様々な花で飾られています。交流体験館を花いっぱい施設にするためにみなさんもボランティアしてみませんか。

## 家庭教育学級 アットホームセミナー

家庭の中の現状や課題などの話し合いを中心に行います。子どもが成長していく中で、どのような変化が生まれてくるか、またその時親はどうすればよいか、参加者と一緒に考えます。保育ルームを設置しますので子育て中の方も気軽に参加できます。

# 教職員の人事異動

4月1日付けで町内小中学校教職員の人事異動がありました。

## 転入された先生

(敬称略) ( ) は前任校  
よりしく願います。

### 【泉水小学校】

校長 中静 憲夫(新潟市南万代小)  
教諭 板垣 博幸(妙高村大鹿小)

### 【川口小学校】

教頭 江川 京子(柏崎市米山小)  
教諭 川村ちひろ(名立町名立小)  
教諭 滝澤 隆幸(川口町木沢小)  
教諭 小林 寿美(長岡市坂之上小)  
教諭 清野 順子(柏崎市田尻小)

### 【田麦山小学校】

事務職員 燕 香奈子(新採用)

### 【川口中学校】

教頭 田村 雅人  
(上越市上越教育大学付属中)  
教諭 本間 奈奈(上越市城西中)

## 転出された先生

( ) は転任校  
お世話になりました。

### 【泉水小学校】

校長 金切 豊(栃尾市東谷小)  
教諭 小杉 洋一(六日町北辰小)

### 【川口小学校】

教頭 涌井 芳郎(津南町津南小)  
教諭 松谷 健次(白根市庄瀬小)  
教諭 横川 洋子(津南町津南小)

### 【田麦山小学校】

教諭 石原 清佳(見附市見附第二小)  
主任 草野 均(小千谷市東山小)

### 【木沢小学校】

校長 服部 町子(白根市根岸小)  
教諭 山本 初栄(十日町市吉田小)

### 【川口中学校】

教頭 須田 明夫(柏崎市瑞穂中)

## 福祉の町づくりセミナー

町内の町・県・国道に地域の人たちの力で花を飾り、住みやすい町にしようという目的でこの講座は行われます。

ご近所同士でコミュニケーションを取りながら地域を花で飾りませんか。

## 絵画教室

蒼丘の杜公園を中心に行われます。風光明媚な川口をキャンパスに描いてみませんか。最後に行われる講習会は参加者から好評です。

## パソコン教室

今年度は3回の講座を用意しまし

た。初心者向けのパソコン入門塾1回と中級者向けのパソコン達人塾2回です。達人塾では年賀状作成とワードの講座が計画されています。



このほか写真教室や講演会、コンサートなど楽しいプログラムがたくさんあります。詳しくは広報と一緒に配布する「かわぐち学びの里大学」の案内をご覧ください。問い合わせ 教育委員会

☎ 89-2119

## 生涯学習地区懇談会のご案内

町では生涯学習の実態や問題点などを自由に話し合う懇談会を本年も3会場で行います。

みなさんの意見を、今後の生涯学習事業に活かしていきますので、参加をお待ちしています。

- 期日、会場
- 4月13日(火) 中新田集落開発センター
  - 4月14日(水) 田中集落開発センター
  - 4月15日(木) 貝之沢交流集会施設
- 時間 19時～21時

※どの会場、どなたでも自由に参加できます。

## 模範児童生徒褒賞及び大会結果

(敬称略)

(学年は平成16年3月です)

### 川口町模範児童生徒褒賞

- 関 なつみ(川口中3年)  
宮 倫世(川口中3年)  
関 奈々美(川口小6年)



### 新潟県書き初め大会

- 金賞 内山 結衣(田麦山小3年)  
大賞 成美(田麦山小4年)

### 新潟県硬筆書き初め大会

- 金賞 須田 美月(泉水小1年)  
石坂かおる(田麦山小1年)  
網 智美(泉水小2年)  
佐藤 雅(田麦山小2年)

### 県児童生徒絵画コンクール

- 絵画の部  
金賞 須田 美月(泉水小1年)  
水落 鈴香(田麦山小1年)  
阿部 恭平(泉水小2年)  
森山 彩香(田麦山小2年)  
小林 紅央(田麦山小5年)  
網 まどか(泉水小6年)

- 版画の部  
特選 大湖 雄介(田麦山小2年)  
大湖 光矢(田麦山小3年)  
大湖 翔平(田麦山小4年)  
大湖 翔平(田麦山小4年)  
金賞 石坂かおる(田麦山小1年)  
石坂 晴哉(田麦山小1年)  
森山 翼(田麦山小3年)  
星野 直希(木沢小3年)  
渡辺 織江(田麦山小5年)  
大湖 勇樹(田麦山小6年)

### 県ジュニア美術展

- 奨励賞  
森山 晃稔(田麦山小2年)  
小林 紅央(田麦山小5年)  
川口町明るい未来コンクール  
優秀賞 小山 彩花(川口小1年)  
阿部 夏美(泉水小2年)  
関 嵩司(川口小3年)  
網 あすか(泉水小4年)  
網 山みなみ(田麦山小5年)  
森山みなみ(田麦山小5年)  
網 まどか(泉水小6年)  
星野 桃果(川口中1年)  
井浦 仁美(川口中2年)  
丸山絵里華(川口中3年)

訂正とお詫び(敬称略)  
3月号11ページで誤りがありました。子どもに無煙環境をー全国キャンペーン 標語・川柳の部  
「覚張亜莉紗」は「覚張亜莉沙」でした。訂正してお詫びいたします。

# 役場の組織・職員配置

※新採用職員

町議会議長 綱 昭博	議会事務局	事務局長 関 武司	町議会、監査に関すること
------------	-------	-----------	--------------

町長 星野和久	助役 内山敦夫	総務課	課長 桜井 誠一	佐藤 誠 高橋 義法 川上 敬子 関 義博 渡辺 諒一 山崎 寿 渡辺 実 岡村 茂 大淵 智美(※)	・一般庶務、人事、消防、防災、交通安全対策、選挙、庁舎・庁有自動車管理に関すること ・予算、決算、起債、入札、町有財産の管理に関すること
		税務会計課	課長 鈴木 政幸	阿部 和真 横山 基文 野澤 朋史 山吉 和浩 桜井 護 関 雅人	・町税の賦課、徴収、固定資産の評価、国県税の指導等に関すること ・公金の出納に関すること
		企画商工課	課長 星野 見男	岡野 光晴 水落 達也 綱 政直 広沢 敏功 山田 香織(※)	企画、広報・広聴、広域行政、土地利用対策、町総合計画、町営バス、商工振興、労働、観光振興に関すること
		生活福祉課	課長 関 久一	古田島光子 内山 謙一 関 喜代美 陣内 美江 黒島 幸代 鈴木 聡 岡村 則子 須田 裕子 波湯 智則 岡村 成輝 神田 直毅(※) 星 奈緒美	・戸籍、住民登録、各種証明、国民年金、児童手当、国民健康保険、老人保健、に関すること ・社会福祉、障害者福祉、老人福祉、高齢化社会対策、保育園、健康づくり、疾病予防、保健指導、栄養指導に関すること
			山田佳多子 保坂 淳子	介護支援センター	
			阿部 和雄	高齢者生活福祉センター	
			東川口保育園 園長 星野由美子	阿部さつき 原 圭以子 広井 康子 山田 知子 栗原 修 高橋 峰子	・乳幼児の保育、給食、健康管理、送迎、施設管理に関すること
			東川口保育園 田山分園	小西美代子	
			西川口保育園 園長 田中 京子	井口久美子 渡辺 彩	
		農村振興課	課長 岡村 謙 参事 山田 功	阿部 恒雄 桜井 正広 星野 智 浅間 昌子 森山 修	・農業振興、畜産、園芸、農業経営構造改革支援、農業委員会、総合農政推進、山村振興、林業振興に関すること
			【公園施設管理センター】 山田 功	【公園施設管理センター】 広井 淳一 小西 喜芳	・着丘の社公園、各種公園・集会所の維持管理、温泉施設の管理運営に関すること
		建設企業課	課長 丸山 耕一	広井 義市 渡辺 勝 北村 清隆 佐藤 直利 山吉 泰久 古田島重幸 金沢 賢児 綱 博之 大淵 正文 佐藤 恵 桜井 尚弘 阿部 孝之 山崎 竜一	・道路、橋梁及び河川の管理、都市計画整備、道路除雪に関すること ・農村総合整備、農地保全、農業用施設の維持管理、農地農業用施設の災害復旧、治山事業、保安林、林道に関すること ・県営住宅及び町営住宅の施設管理に関すること ・水道、ガス事業に関すること ・公共下水道の維持管理、農業集落排水に関すること ・県営住宅及び町営住宅の入居に関すること
教育委員会	教育長 大淵 公男	教育課	課長 関 達市	関 隆和 丸山 正則 丸山 高之 秋山 仁 大淵 雅弘 広井奈生実 菅原 芳子 真島富士子 笹崎 昌子	・学校教育、学校施設、給食センターに関すること ・社会教育、社会体育に関すること ・青少年の健全育成に関すること ・交流体験館事業の運営に関すること

社会福祉協議会	小山 和夫
小千谷地域広域事務組合	山田 康浩
新潟県市町村課	喜多村竹紀

◎退職者 星野 慶子 藤巻 洋子 星野 和枝 丸山美江子

# 4月1日から 白地地域の容積率が変わります

今まで白地地域（都市計画区域内の用途地域の指定のない区域）においての容積率や建ぺい率などの建築形態制限は、比較的緩やかなものでした。しかし全国的には、白地地域においても規模の小さな土地利用が進んでおり、いったん高容積の建物が建築された場合、日照、通風、採光、道路交通などの環境悪化を招くおそれがあることなどから、平成12年5月建築基準法が改正されました。

この改正により、特定行政庁（=川口町の場合は県）が土地利用の状況などを考慮して、新たに白地地域の建築形態制限を定め、4月1日から次のように制限内容の一部が変更となります。

## 川口町の白地地域の建築形態制限

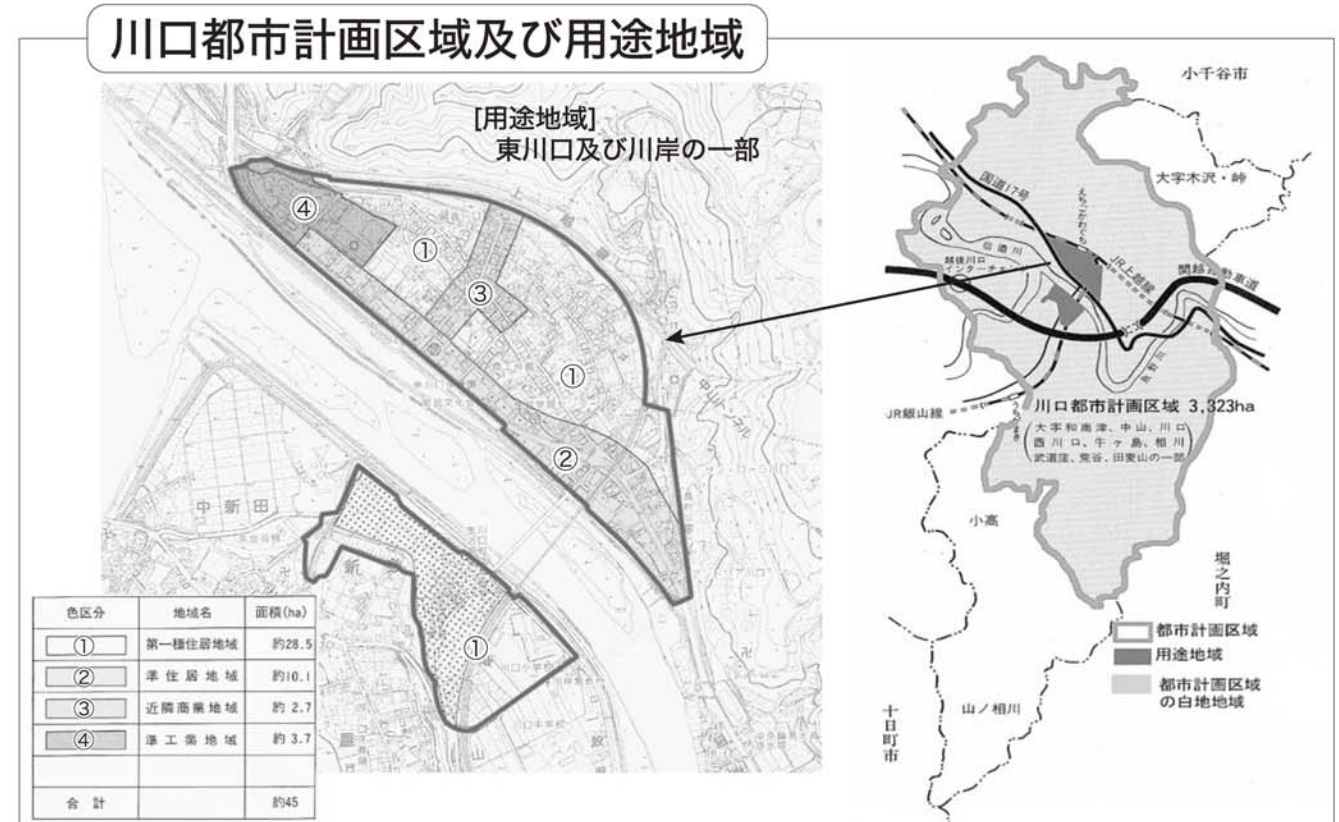
	容積率制限	建ぺい率制限	道路斜線制限	隣地斜線制限
今 まで	400%	70%	△1.5	31m+△2.5
4月1日以降	200%	同上	同上	同上

- 容積率制限（建築物の延べ床面積の制限）  
建築物の延べ床面積（各階の床面積の合計）の敷地面積に対する割合

- 建ぺい率制限（建築面積の制限）  
建築物の建築面積の敷地面積に対する割合

- 道路斜線制限  
前面道路との関係についての建築物の各部分の高さ制限のこと

- 隣地斜線制限  
隣地敷地との関係についての建築物の各部分の高さ制限のこと



問い合わせ 新潟県 土木部都市局建築住宅課 025-285-5511(代表)  
役 場 企画商工課 89-3112

# HOT トピックス

身近な情報をお寄せください！企画商工課 ☎89-3112



**泉水小学校の児童  
牛ヶ島大橋（仮称）  
橋脚工事を見学**

2月25日、泉水小学校の児童は牛ヶ島大橋（仮称）の橋脚部分工事の学習と見学を行いました。これは、県の担当者や工事関係者が、橋の橋脚部分がどのように作られているのかを知ってもらうために行ったものです。4年生11名は、工法の説明を聞いてから、実際に工事現場に行き、掘り進められている状況をカメラで見たり、模型を使った説明を聞いたりしました。児童たちは熱心に質問し、自分たちの地域にできる橋にとっても興味をもっていました。

子供たちに冬の自然のすばらしさや雪の中で遊ぶ楽しさを伝え、合わせて東川口地区のコミュニティ活動の場をつくりたいと、3月6日川口4の特設会場において「かまくら雪んこまつり」が開催されました。第7回となる今回は、東川口町会主催で開催され、地区館や地元有志が協力。町内の子どもたちや親子連れ、お年寄りの方など多数の皆さんが参加していました。午後からの雪洞づくりや雪合戦、夕方からは雪灯り点灯と、子どもたちは大喜び。夜には、トン汁やお餅、飲物などの屋台も出され、参加者同士の交流も図られるなど、子どもから大人まで、楽しい冬の日を満喫していました。



## 東川口地区 かまくら雪んこまつり

私たちが川口町に来て、ちょうど1年が経ちました。正直あつという間に過ぎていきました。トレーニングルームもオープンして9か月、なんとか順調に今日までくることができました。会員数も600名を超えるほどになりました。

初めてトレーニング器具を利用する町民の方がほとんどだったかと思いますが、定期的に体を動かすことが、自分自身にどれだけ良いことなのか、実際に会員のみなさんが結果をだして「もうわらないと始まらないと、焦った時期もありました。会員から「足腰が痛くて歩くことが苦痛だったのが、筋力を

最後にになりましたが1年前、右も左も分らない土地で多くの皆様方に本当に良くしていただきありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

## お世話になりました

トレーニングルームインストラクター

井上なつきさんが退職します

昨年7月から和楽美の湯トレーニングルームのインストラクターをしていて、井上なつきさんが退職されました。



つけたことで痛みが緩和したよ」と言われたときには喜び、またほっとしました。体重、体脂肪が減った方とはともに喜び合い、走ることも出来なかった方々がフルマラソン完走を目指して大会に参加したりと、大きな変化を目の当たりにできて本当に喜ばしく思います。

これからもどんどん体を動かして健康な体づくりをして、充実した日々を送っていただきたいと心より願います。私もこのトレーニングルームの経験を活かし、更にスキルアップしてみなさんに再会できたらと思っています。

## 杜のフェスタ2004

### まつたに 松谷 みよ子 講演会

親から子どもへ語りつぐものやさしさ、思いやりの心を育む



#### 松谷みよ子さんのプロフィール

大正15年東京生まれ。平和を希求して創作童話、民謡の収集に活躍する女流児童文学者。「貝になった子供」で日本児童文学者協会新人賞、「ちいさいももちゃん」で野間児童文学賞を受賞。「いないいないばあ」や「いいおかお」などのシリーズは1,000万部を超える大ロングセラーを続けている。

日時 4月24日（土）14時から  
（開場13時30分）  
会場 交流体験館「杜のかたらい」  
定員 先着150名  
入場料 無料（但し、整理券が必要です）  
申込先 教育委員会 ☎89-2119  
交流体験館 ☎81-4404  
生涯学習センター ☎89-3120  
和楽美の湯フロント ☎89-3000  
までお申込みください。

## 平成16年度 犬の登録と狂犬病予防注射のお知らせ

狂犬病予防法では、すべての飼い犬について一生に一度の登録と、毎年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています。

対象犬 生後91日以上の畜犬

料金 ・新規登録犬 6,100円  
・登録済犬 3,100円  
・県動物愛護協会  
に入会する場合 1,000円

携行品 予防注射受付用はがき・印鑑

※新たに犬を飼われて登録をされていない方は、通知が行きませんので、当日、受付においでください。

問い合わせ 生活福祉課 ☎89-4418

### 狂犬病予防注射日程表

期日	時間	会場
4月21日 (水)	9:30~9:50	ふれあい交流館 サウンド
	10:10~10:35	西川口集落開発センター
	10:55~11:15	田麦山会館
	13:00~13:10	木沢会館よろみ
	13:30~13:50	和南津集落開発センター
	14:10~15:00	川口町役場車庫前
5月9日 (日)	13:00~14:30	小千谷市役所前駐車場

## 克雪住宅への補助金の交付を開始（4月1日～）

町では、住環境を向上させることを目的に、克雪住宅（融雪式屋根、落雪式屋根、耐雪式屋根など）の補助金の交付を行っています。平成4年から今年までの12年間で286件の補助を行いました。

補助金額の上限

- ・融雪式……………44万円以内
- ・その他（落雪式・耐雪式等）…33万円以内

平成16年度受付期間

4月1日から11月30日まで

※新築や増改築の際には、建設企業課までお問い合わせください。

## 法定外公共物に係る国有財産（いわゆる赤線、青線）の町への譲与

地方分権一括法に基づき、市町村からの譲与申請により国有財産（いわゆる赤線、青線）が国から譲与されることになりました。（一部譲与対象外の赤線、青線があります。）

町では、本年度をもって、国への申請を全て終了させる予定です。譲与申請後は、川口町法定外公共物管理条例により管理いたします。

平成13～15年度の実績

- ・大字川口地区 約2km<sup>2</sup>
- ・大字西川口、牛ヶ島、中山地区 約10km<sup>2</sup>
- ・大字和南津、相川、武道窪、田麦山（国土調査済）地区約10km<sup>2</sup>

平成16年度の予定

- ・大字荒谷、木沢、田麦山（国土調査未実施）地区の3地区

問い合わせ 建設企業課 ☎89-3114

### ふるさとの味は健康のもと ㉔

山の幸・川の幸・里の幸  
かわぐちのごっつお

## そば餅



そば餅は、自家製味噌にごまだれや砂糖を加えて作った素朴な味だったようです。

今では材料のそば粉もなかなか手に入らず、昔を思い出させるなつかしい食べ物のひとつです。

#### ●材料

- ごまだれみそ
- ごま……大さじ6 酒……大さじ2
- 塩……少々 砂糖……大さじ3
- しょうゆ……大さじ1½
- そば粉……2カップ
- 小麦粉……½カップ
- 片栗粉……½カップ
- 水……½カップ

#### ●作り方

- ①ごまはすり鉢でよくすり、酒・砂糖・しょうゆ・塩の順に加えてさらによくすり、ゆるめのごまみそだれを作る。
- ②ボールにそば粉・小麦粉・片栗粉を合わせ、水を少しづつ入れながらよくこねる。
- ③耳たぶより柔らかめになったら、団子に丸め中心を指でつぶす。  
鍋にたっぷりのお湯を沸かし、沸騰したところにもちを入れ5分程ゆでる。
- ④温かいうちにごまだれをつけながら食べる。  
「かわぐちのごっつお」は食生活改善推進委員が紹介しています



右から  
内山 晶子 (川口5) ☎89-2651  
佐藤クニ枝 (川口6) ☎89-2881

### 21世紀は私たちが主役! ㉕



小見さんは、十日町高校3年生で、空手部に所属しています。十日町高校は北信越大会女子団体組手の部で優勝を飾り、3月20~22日に行われた全国高校選抜大会に出場しました。日曜日以外は毎日、2時間半から3時間の厳しい練習をしているそうです。

▼空手をはじめたきっかけは…?  
「十日町高校に入学してから空手部の先輩の練習すがたを見て、かっこいいと思い入部しました。」

▼空手の組手とは…?  
「空手の組手は突きや蹴りなどの技がきまると点数が入り、8点を先取した方が勝ちになります。」

▼全国大会の結果は…?  
「十日町高校は、対戦相手の敦賀気比高校に1勝3敗1引分けで負けてしまいました。私はこの試合に中堅として出場し対戦相手に勝ち、高校の1勝に貢献することができました。」

▼出場した感想は…?  
「全国大会という緊張感でみんな硬くなっていて、本来の実力が出しきれませんでした。今までの大会と違って試合の前に他校は堂々としていたし、技のきれのの違いも感じました。この経験をこれからの練習にいかしたいと思います。」

▼これからの目標は…?  
「8月に行われるインターハイに出場して、ぜひ1勝したいです。」



小見さんの全国大会での試合

皆さんのページです。投稿をお待ちしています!

企画商工課 ☎89-3112

## みんなの広場

### お釈迦さまの団子たくさん拾ったよ 西蔵院の団子まき

毎年町内の各お寺では3月15日前後に、お釈迦さまの遺骨に模した白い団子をまいて、皆さんが健康で幸せに過ごせるように祈願しています。  
西川口保育園では、社会体験や静かに正座するなどのマナーを身につけるため、西蔵院での団子まきに長年参加していて、園児たちは「お釈迦様のだんご拾い」といって楽しみにしています。



▲団子が、たくさんまかれました



▲いっぱい拾えたかな

当日、住職は園児たちにお釈迦さまについて説明した後、本堂でお経をあげ、無病息災とお釈迦さまのような良い人になれるようにと願って団子をまきました。  
園児たちは転がる真っ白な団子を追いかけて袋いっぱい拾い、とてもうれしそうでした。  
園児の中には、これを持ち帰って、「囃しよけ」でかばんに団子入り小袋を付けてくる子もいました。

### 元気です!かわぐちっこ ㉖

山田 雄介 ちゃん (中新田・2歳)  
おとうさん 勉さん おかあさん 恵美子さん



有莉ちゃん(左)と雄介くん(右)はいっしょに速くまで散歩します。

緑黄色野菜が好きな雄介くん、ニンジンなど好き嫌いなく食べます。この冬は、妹の有莉ちゃんとそりに乗ったり、雪だるまを作ったり、外で元気に遊んで、かぜもひきませんでした。高い所からジャンプすることが好きで、イスやテーブルからドンドン勢いよく飛んでいます。有莉ちゃんに靴をはかせてあげたりする、妹おもしろい雄介くんでした。

### 俳句

大内迪子先生選 公民館句会(2月7日)

- 吊されて揺れて競りあふ受験絵馬
- 標の出番待つごと置かれあり
- 除雪車が夢破りつつ廻り来る。
- 日の差せば心明るく雪籠
- 立て付けの悪しき障子の雪明り
- 節料理飽きたころの小豆粥
- 明け方の雷ひとつ寒に入る
- 節分の豆こりこりと噛みあたる
- 試筆する色紙に吾が句並べみし
- 豊年を祈る寒九の雨よ降れ
- 砕けてもなほ砕けても冬の霽
- 盆梅のピンクの蕾春近し
- 大寒の空晴れ渡る越後かな
- 「ただいま」と吹雪の中で孫笑める

- 上村 たつお
- 村山 むら女
- 覚張 次郎
- 藤田 節子
- 宮 ヨキ
- 石坂 シゲ
- 岡村 佐和子
- 小宮 山トキ
- 佐藤 信
- 新宮 山紫
- 鈴木 良仙
- 関 よし
- 星野 きの
- 星野 千恵子

### 短歌

宿どこに此の大群の初雀  
立春の村ひとめぐり万歩計  
雪晴れや旅の広告捨てられず  
今朝も又除雪の音のたくましく  
木の枝に一日終日冬鴉  
はろばろと海越えて来し初便り  
星増えて冬の銀河の美しき  
雪下ろし明日に延ばせぬ仕事とて  
雪の嵩屋根ふくらみて見えにけり  
■公民館句会 4月4日(日) 生涯学習センター  
■老人クラブ俳句教室 5月7日(金) 末広荘  
※出句締切 午後1時

- 雪消えの土手に路のたうは芽吹きしも越路の春はまたも吹雪きぬ
- 軒下の積雪ややに嵩減りて朝の廊下に陽のまぶしかり
- 丸山 丸山 トシ
- 丸山 好枝
- 三輪 京子
- 目黒 せつ
- 森山 菊江
- 山田 久子
- 山田 子ヨ
- 吉澤 まさ子
- 渡辺 登子
- 佐藤 美智
- 森山 みえ